

2022年度事業報告

(2022年4月1日から2023年3月31日)

概況

2022年度は高病原性鳥インフルエンザがかつて無い規模で発生し、採卵鶏の殺処分羽数は期末で1,500万羽を超えるに至った。国内の総羽数の1割以上が殺処分されたことにより需要と供給のバランスが大きく崩れ、卵価も300円相場という史上2位の価格まで高騰した。卵不足は特に加工用、業務用で表面化し鶏卵を使用する菓子類の販売中止やメニューの見直し等が頻繁に行われた。

また、3年目となった新型コロナウイルスの影響もあり、期中には減少したインバウンドの回復までには至っていない。2022年度は鳥インフルエンザと新型コロナウイルスの両方に振り回される結果となった。

このような状況下、食品衛生法によりHACCPの考え方を取り入れた食品の衛生管理が一層求められていることや、鶏卵の消費拡大には正しい知識普及が欠かせないことから、以下の事業を行った。

事業報告の明細

1. HACCP関連事業の推進

食品衛生法の一部改正に伴い、2021年6月1日にHACCPに沿った衛生管理の実施が完全施行されたことを踏まえ、会員等に取り組みの周知を図った。又、日本卵業協会認証のGPセンターHACCP審査申請も年々増加し、49施設が認証されている。

2. ヤングミーティングによる知識啓発情報発信事業

(1) タマリエ検定の充実及び普及

1) 三ツ星タマリエ検定

鶏卵に関する正しい知識を会得してもらい、タマゴの伝道師として安全で高栄養価である鶏卵の素晴らしさを国民に普及するとともに、食生活には欠かせない鶏卵の消費促進に資する広報の役割を担ってもらうことを期待し、農林水産省後援の下、東京会場・大阪会場・九州会場・キューピー会場・千葉会場にて開催した。2022年度の認定合格者は398名、総認定合格者は2,427名となった。

2) 五ツ星タマリエ検定

たまごに関する知識を正しく理解したプロ中のプロに与えられるタマゴのソムリエ資格最高位の、五ツ星タマリエ検定を開催した(第3回)。論文・記述試験・プレゼンテーション試験に合格しなければならず、狭き門であり3名が合格し、第1回、第2回と合わせて合格者は9名となった。

(2) たまごニコニコ大作戦の拡大

1) たまごニコニコAGAIN2022実行委員会を組織し、～日本縦断チャリリレー～を実施した。自分たちの明るい未来は自分たちで創る！をスローガンに、たまごの生産農家や流通業者、関連産業の人々が一致団結して立ち上がり、たまごの正しい知識や魅力を直接消費者に伝えることを目的に、日本中でイベントを重ねながら自転車のたすきリレーをおこなった。

4月28日 IPPS会場のポートメッセなごやでスタートし、8月5日 豊橋市でゴールイベントを実施した。

2) これからの食を担う高校生を中心とした いたたまごの日「たまごニコニコ料理甲子園」を11月5日 東京栄養食糧専門学校に於いて、3年ぶりにリアル開催した。たまごニコニコ料理甲子園も8回目を迎え、料理甲子園の内容が各校に理解され、教育の一環としての応募が増え、コロナ禍にも負けず1,000作品以上の応募があった。その結果、近畿エリア代表福知山淑徳高等学校の作品がグランプリに輝いた。

3. 同業他団体との消費拡大、安全・安心への取り組み

(1) たまご知識普及会議(略称 たま会)への参画

同業他団体(4団体)と協力し、消費者へ鶏卵の正しい知識普及を図った。更に誰でも利用できる鶏卵関連のコンテンツを集めたポータルサイトの運営準備を行った。また、消費拡大策として、20～50代の子供のいる家庭の中でも卵の消費が1日に1人1個未満の世帯を減らすことを目的に、目玉焼きの食卓出現頻度の増加を図った。具体的には、めだま焼き丼のリーフレットの作成、日本たまごかけごはん研究所やお米団体とコラボの協同啓発イベント等を行った。

(2) たまごニコニコAGAIN2022実行委員会主催で、たまご知識普及会議他が後援する形で4月28日から7月31日にかけて「全国めだま焼

き井グランプリ」を開催し、全国の飲食店から出品願いその中からグランプリを選出した。

(3) 鶏卵公正取引協議会への参画

4. 本協会の活動及び委員会の活動

(1) 定時総会

2022年5月24日 東京都千代田区飯田橋3-10-8 ホテルメトロポリタンエドモントにて開催した。

次の議案が満場一致で承認された。

- 第1号議案 2021年度決算書類承認の件
- 第2号議案 監事1名辞任に伴う候補者承認の件
- 第3号議案 2022年度役員報酬承認の件
- 第4号議案 2022年度借入金最高限度額承認の件
- 第5号議案 2022年度会費徴収方法承認の件

(2) 理事会

協会の業務執行決定のため、次により理事会を開催した。主な議案は次の通り。

第1回 2022年4月20日(水) 馬事畜産会館 WEB併用

- 1) 監事1名辞任に伴う候補者承認の件
 - 2) 2022年度定時総会議案の件
 - 3) 2022年度定時総会招集の件
- 議案通り承認された。

第2回 2022年10月12日(水) 馬事畜産会館 WEB併用

- 1) 秋季総会中止並びに講演会実施の件
 - 2) 新規正会員承認の件
 - 3) 2022年度前期職務執行理事の業務執行報告の件
- 議案通り承認された。

第3回 2022年12月7日(水) 馬事畜産会館 WEB併用

- 1) 2023年度主要事業計画の件
 - 2) 理事候補者割当枠の件
 - 3) 理事候補者選挙日程案の件
- 議案通り承認された。

第4回 2023年3月15日(水) 馬事畜産会館 WEB併用

- 1) 2023年度事業計画及び予算案の件
- 2) 定時総会開催の件
- 3) 2022年度後期職務執行理事の業務執行報告の件
議案通り承認された。

(3) 三役会

理事会上程議案等について審議を行った。

- 第1回 2022年 4月20日 馬事畜産会館に於いて
第2回 2022年 8月29日 馬事畜産会館に於いて
第3回 2022年10月12日 馬事畜産会館に於いて
第4回 2022年12月 7日 馬事畜産会館に於いて
第5回 2023年 3月15日 馬事畜産会館に於いて

(4) GPセンターHACCP認証委員会

GPセンターHACCP施設認証及びHACCPに関する事項について委員会を開催した。

- 第1回 2022年 5月26日 書面委員会
第2回 2022年 6月21日 書面委員会
第3回 2022年 8月19日 書面委員会
第4回 2022年10月31日 書面委員会

(5) ヤングミーティングの活動

チームタマリエ会議 主に馬事畜産会館及びミーティングスペース@八丁堀に於いて、下記事項等の協議を行った。

- たまごニコニコ料理甲子園作品募集・準備
- 三ツ星タマリエ検定
- 五ツ星タマリエ検定
- IPPS関連たまニコAGAIN2022～日本縦断チャリリレー～準備
- 全国めだま焼き丼グランプリ準備
- ヤングミーティング全国大会(1月18日)

- | | | | |
|-----|--------|-----|--------|
| 第1回 | 4月15日 | 第2回 | 5月17日 |
| 第3回 | 6月 7日 | 第4回 | 7月 7日 |
| 第5回 | 8月18日 | 第6回 | 9月 8日 |
| 第7回 | 10月11日 | 第8回 | 11月 4日 |

第9回 12月 6日 第10回 1月18日
第11回 2月14日 第12回 3月14日

(6) 会員に関する事項

2023年3月31日現在 会員数 156社 (賛助会員3社含む)